

令和3年度

個性ある区づくり推進費

決算

緑 区



令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:円]

No.	事業名	新規重点	R03予算	R03決算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,407,000	16,630,131	776,869		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,867,000	7,998,227	△ 131,227	総務課・福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820,000	1,819,400	600	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		3,554,000	2,816,341	737,659	地域振興課	4
4	交通安全施設等整備事業	新規	2,500,000	2,591,600	△ 91,600	土木事務所	6
5	暮らしの衛生推進事業	拡充	1,666,000	1,404,563	261,437	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			21,734,000	17,380,657	4,353,343		
6	健康たうん・みどり推進事業		2,586,000	2,290,339	295,661	福祉保健課	8
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		5,877,000	5,804,490	72,510	福祉保健課	9
8	あんしん子育てネットワーク事業	重点・拡充	7,998,000	6,260,894	1,737,106	こども家庭支援課	9
9	保育所すこやか子育て支援事業		2,367,000	1,752,069	614,931	こども家庭支援課	11
10	DV対策・児童虐待防止事業		645,000	386,520	258,480	こども家庭支援課	12
11	青少年地域サポート事業		1,373,000	402,153	970,847	地域振興課	12
12	高齢者生きがい推進事業		463,000	116,664	346,336	高齢・障害支援課	12
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業 【前年度:障害者自主製品販売支援事業】	拡充	425,000	367,528	57,472	高齢・障害支援課	13
③ みどりの魅力あふれるまち			58,477,000	63,037,416	△ 4,560,416		
14	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点・拡充	5,000,000	4,625,829	374,171	土木事務所	14
15	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		4,600,000	5,500,000	△ 900,000	土木事務所	14
16	みどり!まるごと応援事業	拡充	5,148,000	4,837,875	310,125	区政推進課	15
17	みどり地域まちづくり推進事業		2,348,000	1,768,041	579,959	区政推進課	16
18	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500,000	2,969,706	530,294	区政推進課	16
19	アートによる緑区の魅力発信事業		5,000,000	4,713,087	286,913	区政推進課	17
20	みどり環境行動啓発事業		900,000	765,055	134,945	区政推進課	17
21	読書活動推進事業	拡充	500,000	480,689	19,311	地域振興課	17
22	緑・芸術文化事業		2,361,000	1,808,246	552,754	地域振興課	18
23	3R推進事業	拡充	2,258,000	1,575,470	682,530	地域振興課	19
24	きれいなまちづくり事業	拡充	2,498,000	2,236,570	261,430	地域振興課	19
25	緑区商店街振興事業	重点	3,169,000	2,676,910	492,090	地域振興課	20
26	区民まつり事業	拡充	5,600,000	3,714,816	1,885,184	地域振興課	20
27	地域振興事業		2,189,000	1,714,249	474,751	地域振興課	21
28	市民活動パワーアップ支援事業	拡充	3,462,000	2,509,537	952,463	地域振興課	21
29	みどりスポーツ振興事業		1,720,000	1,114,638	605,362	地域振興課	22
30	広報・広聴事業		2,763,000	2,470,277	292,723	区政推進課	23
31	区民から親しまれる区役所づくり事業		5,461,000	17,556,421	△ 12,095,421	総務課	23
合計			97,618,000	97,048,204	569,796		

令和3年度 個性ある区づくり推進費決算 総括表

[単位：円]

区 分	R3予算額	R3決算額 【執行率】	差引額
1 自主企画事業 (31事業)	97,618,000	97,048,204 【99.4%】	569,796
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,407,000	16,630,131	776,869
(2) いきいき暮らせるまち (8事業)	21,734,000	17,380,657	4,353,343
(3) みどりの魅力あふれるまち (18事業)	58,477,000	63,037,416	△ 4,560,416
【重点事業】 4事業 決算額 21,561,860			
◆災害に強いまちづくり事業 * (1) で計上	7,867,000	7,998,227	△ 131,227
◆あんしん子育てネットワーク事業 * (2) で計上	7,998,000	6,260,894	1,737,106
◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 * (3) で計上	5,000,000	4,625,829	374,171
◆緑区商店街振興事業 * (3) で計上	3,169,000	2,676,910	492,090
2 統合事務事業費	44,487,000	38,371,218 【86.3%】	6,115,782
(1) 統合事務費	24,743,000	20,774,560	3,968,440
(2) 統合事業費	19,744,000	17,596,658	2,147,342
3 区庁舎・区民利用施設管理費	597,723,000	595,889,666 【99.7%】	1,833,334
(1) 区庁舎等	104,957,000	103,279,800	1,677,200
(2) 地区センター等	437,443,000	439,385,661	△ 1,942,661
(3) 公会堂	41,625,000	40,827,869	797,131
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,579,000	7,276,999	302,001
(5) その他(広場・遊び場)	6,119,000	5,119,337	999,663
合 計	739,828,000	731,309,088 【98.8%】	8,518,912

① 安全・安心なまち 16,630,131円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】 7,998,227円

避難場所における感染症対策を充実させるとともに、防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進しました。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 区の災害警戒体制早期確立のため、災害時初動対応グループ研修を実施（4月9日）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に防災研究会と区本部訓練を実施（9月、1月）【中止】
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（10月28日・29日）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材（バールンライト、ガス発電機等）を購入し、計画的な備蓄を実施
- オ 避難指示等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所開設に必要な物品をまとめて収納できるかばん等を購入し、初動体制を強化

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品（折り畳みマット）の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点 7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習の実施（2拠点）
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）【中止】
- オ 運営委員を対象に拠点開設時の新型コロナ感染予防対策研修を実施（11月）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月11日・12日）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会のオンラインライブ配信（3月12日）
（講師：気象予報士 平井信行氏）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月16日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月）【書面開催】
- エ 自治会・事業者等を対象とした防災出前講座の実施（11回）



防災出前講座（寺山町自治会館）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催（森の台小、長津田第二小、上山小）
- イ コロナ禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを作成
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ マイタイムライン等を活用した減災行動の啓発や、コロナ禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- オ 妊婦を対象に、母親教室で出前防災講話を実施【新規】（9回）

(5) 緑区防災計画「震災対策編」の修正

市防災計画の修正に伴い、区防災計画を修正し製本化

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施【災害時医療訓練及び研修会は中止】

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

イ 保健活動グループの訓練の実施【中止】

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 洪水ハザードマップの増刷

(9) 新型コロナウイルス感染症対策事業【新規】

新型コロナウイルス感染症対策として、各拠点に簡易型のテント（6基）及びベッド（2基）を購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

1,819,400 円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行いました。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月20日）【書面開催】

イ 活動内容

(ア) 防犯パトロール物品等の提供

(イ) 啓発活動

a 振り込め詐欺防止等キャンペーン

・ 駅頭キャンペーン（6月）【中止】

・ 緑警察署防犯キャンペーンと連携したチラシ配布（10月）【中止】

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）【中止】

(2) 振り込め詐欺被害防止事業

区内高齢者を対象とした、簡易型自動録音機の配布（10月）

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載（12月）

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

2,816,341 円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進しました。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みました。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月20日）

【総会は書面開催、功労者表彰式は人数を絞って開催】

イ 幹事会の開催（第1回：5月21日、第2回：8月17日、第3回：10月29日、

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

第4回：2月15日)

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（4月6日）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月9日）（雨天により中止）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月22日 交通安全緑区民大会）【中止】

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月7日）（雨天により中止）

（イ）登校時の高校生への啓発（白山高校：5月14日、霧が丘高校：5月18日）

（ウ）自転車駐車場での啓発（中山駅：6月22日、十日市場駅：6月23日、鴨居駅：6月25日、長津田駅：6月29日（雨天により中止））

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

（ア）シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（第1回：6月3日、第2回：8月26日【中止】、第3回：11月4日、第4回：2月24日【中止】）

（イ）高齢者向け交通安全教室（交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月31日【中止】）

イ 児童交通安全教育・対策

はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）

の実施（山下みどり台小：6月4日、山下小：6月9日、森の台小：6月21日、三保小：6月24日）



ウ スクールゾーン対策

（ア）スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月）はまっ子交通あんぜん教室（山下小）【研修会は中止し、代替として資料送付】

（イ）スクールゾーン対策協議会への助成

（ウ）電柱巻標識、路面標示の新設・補修

電柱巻更新76本、路面標示新設6か所、補修17か所

（エ）横断旗等の配布（1月）

配付希望のあった区内8小学校に対し、横断旗210本、旗入缶23個配布

(4) 放置自転車対策

ア 区内4駅の自転車等放置防止推進協議会の開催（7月）【書面開催】

イ クリーンキャンペーンの実施（中山駅：11月2日、十日市場駅：11月5日、鴨居駅：11月10日、長津田駅：11月12日）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

4 交通安全施設等整備事業【新規】

2,591,600円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を実施しました。

(1) 交通安全施設等整備事業

- ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4～7月）
- イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7～8月）
- ウ 交通安全対策
路面標示の新設、区画線・防護柵の補修の実施（9月～3月）

	整備内容	実施箇所
新設	路面標示（歩行者注意、横断者注意）	長津田、長津田町
補修	区画線（外側線）	鴨居、東本郷
	防護柵	上山、白山、中山



新設：路面標示（長津田）



補修：区画線（東本郷）

5 暮らしの衛生推進事業【拡充】

1,404,563円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図りました。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施しました。

(1) 食品衛生普及啓発事業

- ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施
広報よこはま（8月号）こども新聞への食中毒予防啓発記事の掲載及び小学校への出張講座（11月10日）により、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発を実施【新規】



小学校への出張講座（三保小）

- イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン（9～10月）
- ウ 区庁舎1・3階モニターで食中毒予防啓発動画を上映（通年）
- エ HACCP（ハサップ）の導入支援、改正食品衛生法の内容周知

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

オ 区役所イベントスペースでのパネル等展示（6月28日～7月5日、12月20日～24日）
カ オンライン保育施設長会で感染性胃腸炎及びウイルス性食中毒予防、食品衛生法改正に関する啓発を実施（1月18日）

キ 広報よこはまへの記事掲載による周知啓発
・違法なけしについて（5月号） ・災害に備えた薬のはなしについて（8月号）

（2）人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

（ア）飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（講義：緑区役所 11月7日 31人 実技：長坂谷公園 11月13日 36人）

（イ）窓口での適正飼育啓発チラシ等の配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月30日～9月3日）

（3）安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発の展示（5月31日～6月4日）

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出し（16件）

ウ 広報よこはまへの記事掲載による注意喚起及び周知啓発

・ハチについて（5月号） ・蚊について（6月号）

（4）災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

（ア）災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳（安心手帳）」の配布

（イ）ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（6月26日 緑区役所 13人）

（ウ）地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

（ア）保健衛生ポスターの活用啓発（配付済拠点数 3拠点）

② いきいき暮らせるまち 17,380,657円

6 健康たうん・みどり推進事業 2,290,339円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みました。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行いました。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施【中止】

(2) 思いやり健康づくりの日事業

ア 健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施
（11月18日・25日）

イ 食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施【中止】

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援【中止】

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン（イベント及びパネル展）

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯みがき相談、健康チェックを実施（6月23日）

(イ) 食育の日キャンペーン

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科チェック等による食育啓発を実施（8月19日、10月21日、12月16日）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施
（10月27日、11月16日～18日、12月1日）

ウ 緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（6月23日、11月18日・25日、3月14日）（6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施【中止】

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

5,804,490 円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定しました。

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援しました。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

2年度に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催することのできなかった地区別計画推進策定委員会等について、Zoomを活用して開催するなど、第4期計画の策定を進めました。

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（8月6日、11月26日）

イ 地区別計画推進策定委員会の開催

（11地区で各2回以上開催（6～7月、10～12月））

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月28日、9月16日）

エ 第4期計画策定に係る広報印刷物の発行準備（啓発講演会は中止）

オ 地区別計画の推進のための事業の実施

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等に対する活動を支援しました。

ア ふれあいコールに対する助成

民生委員・児童委員が定期的に電話をかけて安否確認を行う「ふれあいコール事業」に対する助成を実施

イ 民生委員活動マップの更新・作成

民生委員・児童委員が活動する担当地域の変更や住宅地図の変更に対応して、当該マップを更新し、民生委員・児童委員が活動しやすい環境を整備

8 あんしん子育てネットワーク事業【重点・拡充】

6,260,894 円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行いました。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供

（緑区役所 年12回）

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催

（14か所の会場で各9回 計126回、うち8～9月、1～3月（45回）は中止。81回実施 999人）

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施

（1日コース年12回）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施（個別相談 15 回実施、スーパーバイズカンファレンスは中止）

（2）子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成（1 団体）

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を実施

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場作り（2 か所）

（3）情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信（メールマガジン毎月 1 回配信）

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布（3 月）

ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット

区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所、幼稚園、小中学校等に配布（7 月）

エ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行

オ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内（5 月 2,000 部、10 月 3,000 部）、よくある質問に答えるリーフレットを発行

カ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する子育てを支援する映像を作成

キ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成

（4）新型コロナウイルス感染予防対策【新規】

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入

・空気清浄機や換気を促すための扇風機（健診フロア用）

・乳幼児用玩具等の消毒に使用する消毒液、除菌シート（赤ちゃん教室等用）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

9 保育所すこやか子育て支援事業

1,752,069円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めました。授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」、園庭やホールを開放し、地域の親子に利用してもらう「施設開放事業」などを実施しました。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」の代替事業を実施することで、地域の保育ネットワークの連携を強化し、地域の子育て支援を推進しました。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ることを目的としています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、緑区オリジナル体操「ミドリんたいそう」を制作しました。区内で体操の見本動画の撮影を行い、横浜市 YouTube で配信しました。また、区内保育施設や関係施設には体操のCD・DVDを配布しました。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを保育施設、市民利用施設に設置し、地域の親子に開放しました（45か所）。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎました。

ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会

地域子育て支援の充実を図ることを目的として、地域の子育て支援事業実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有【中止】

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業【4月～中止】

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やしました。

ウ 施設開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター一園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の施設開放（園庭開放・ホール開放）を実施し、子育て支援の充実を図りました。【8～9月及び2～3月中止】

エ 離乳食ランチ交流【4月～中止】

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげる事業

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育みました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、地域の方を集める等の交流は実施せず、出来上がったカーテンや育成した花苗を園にお越しいただいた方にご覧いただき、事業について説明を行いました。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

10 DV対策・児童虐待防止事業

386,520円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行いました。

また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施しました。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施

(年12回(24件)のうち、11回(16件)実施)

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修

(年2回、うち1回実施)

11 青少年地域サポート事業

402,153円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めました。

また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行いました。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援(3年度は事業休止)

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業運営費

区民まつりに協力できる小中学生ボランティアを募集し、地域交流を支援【中止】

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

東京工業大学と連携し、小中学生を対象とした科学実験体験講座を開催

(2月26日 長津田地区センター)【中止】

12 高齢者生きがい推進事業

116,664円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進しました。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル(3月4日)【中止】

イ 囲碁・将棋大会(12月10日 緑ほのぼの荘 参加者27人)

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

ア 加入促進用パネル作成(2枚)

イ 啓発用封筒印刷(2,000枚)

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業【拡充】

367,528円

【前年度：障害者自主製品販売支援事業】

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいつくりの場を充実させるとともに、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進しました。

(1) 共同販売の推進

ア 区役所での共同販売の場の設定

みどりハートフルマーケット（参加17事業所 206日、延べ532事業所）

イ 区役所販売PRチラシ作成（1,600枚 3月）

(2) 商品の魅力アップ支援

自主製品及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」

（R2年度作成）を増刷（5月 1,000部）

(3) 障害理解の促進【新規】

ア 障害者週間イベントを実施（12月1～3日）

・参加21事業所 来場者延べ250人

・PR缶バッジ1,500個、ちらし2,000枚作成

イ 障害者向けに成年後見制度相談案内カード作成
（2,000枚 3月）



冊子「ミドリビト」

③ みどりの魅力あふれるまち

63,037,416円

14 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点・拡充】

4,625,829円

花と緑あふれるまちづくりを目指すため、街路樹の補植を実施し、道路の緑化を進めるとともに、公園愛護会やハマロードサポーター、自治会等の区民が交流を図りながら、花と緑を主体的に育てるサポーター育成講座を実施しました。

(1) 街路樹の補植

空き樹調査結果を踏まえ補植を実施（長津田第309号線などで計9本）（8月～3月）

(2) 花と緑のサポーター養成講座

2グループに分けて実施

（公園愛護会、自治会等から41名受講）

- ・第1回：5月7日・12日、第2回：6月3日、
- 第3回：6月24日、第4回：8月26日、第5回：9月28日・29日、
- 第6回：10月21日、第7回：11月25日、第8回：3月17日



街路樹の補植（長津田）

15 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業

5,500,000円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信しました。

(1) 市民団体の連携づくり

梅田川水辺の楽校協議会などと座談会やワークショップを開催（6月～3月）

(2) 生き物観察会の実施

雨水調整池、親水広場、公園などで区民や児童を対象に実施（4回）

- ① 森の台雨水調整池(水生生物)(10月)
- ② 梅田川遊水地(魚類、水生生物)(12月)
- ③ 恩田川、梅田川(鳥類)
- ④ 三保市民の森(シダ類)

③、④は新型コロナ感染拡大防止の観点からDVDを作成し、区内の全小学校に総合学習の教材用として配布



生き物観察会（梅田川遊水地）

(3) 情報発信手法の検討

情報発信手法の検討・試行（6月～3月）

(4) リーフレットの作成に向けた検討（12月～3月）

- ア 生物写真等素材収集
- イ データ作成

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

16 みどり！まると応援事業【拡充】

4,837,875円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信しました。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力発信する動画の配信のほか、自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めました。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」の実施を通じて地域の活動を応援しました。

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めました。(毎週火・木曜日)

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作りました。(5月14日、6月11日、7月9日、10月8日、11月9日、12月10日 緑区役所)

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ウェブサイト等で定期的に動画を配信し、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えました。(2本配信)

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、飲食店における地産地消を促進しました。また、よこはま地産地消サポート店の登録促進を行いました。

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消に取り組んでいただけるよう、広報よこはま緑区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行いました。

オ 地産地消講座

畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいました。(7月7日、11月14日)【6月5日は中止】

(2) みどり！魅力再発見事業

ア フォトアーカイブ事業

緑区役所で収集した写真を2次利用できるように、緑区ウェブサイトへ掲載しました。併せて緑区フォトコンテスト2021を実施し、入賞・入選写真25点を2次利用できるように公開しました。(令和4年3月現在 302枚公開)

イ 緑区遺産

区内にある歴史的・資源的・文化的な地域資源「緑区遺産」の登録を促進したほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援しました。

(令和2年度20件→令和3年度21件 新規登録No.21「岩川堰」)

また、緑区遺産を紹介する冊子「緑区遺産 ちよい散歩」を新たに発行し、事業PRを図りました。(3月 3,000部)

ウ ウォーキングマップを活用した地域資源の魅力発信事業【新規】

区内をウォーキングする方に区内の歴史や直売所など、様々な地域資源を紹介することで、より楽しくウォーキングをしてもらうとともに、区の魅力を発信するため、長津田歴史探訪マップや鴨居駅周辺の魅力マップ、直売所マップ等で掲載している情報を取り入れてミドリウォーキングマップを改訂しました。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進しました。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらう一方、所有者に対し奨励金を支払いました。

17 みどり地域まちづくり推進事業

1,768,041 円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施しました。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組に応じた支援を行いました。

ア 山下地区（山下地区安全・安心まちづくり協議会）

（ア）山下地区安全・安心まちづくりプラン実現に向けた支援

まちづくり委員会6回開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

（イ）山下地区ささえあいバス運行支援

・ささえあいバス委員会6回開催（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

・利用促進支援（利用会員170人（3月31日現在））

・バスルート・ダイヤ改定（4月6日）

イ 東本郷地区（東本郷まちづくり協議会）

東本郷地区まちづくりプラン実現に向けた支援

・協議会12回開催（毎月）

・鶴見川沿いまちあるき（5月）

ウ 十日市場地区（十日市場駅周辺活性化協議会）

「いちば」（夏と冬の年2回）【中止】

(2) 山下地域交流センター活用等検討

山下地域交流センター（旧山下小学校木造校舎）について、歴史的な特徴を生かした施設活用や運営方法等の検討調査を実施

(3) みどころ案内サイン

ア 既存のみどころ案内サインを点検し、点検結果に基づき改修及び新設
（14基改修、1基新設）

イ 今後の効率的なサイン改修計画のため、サイン等管理台帳を作成

18 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

2,969,706 円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを開催しました。アンケートでは、約98%の子どもたちが「また来年も参加したい」と回答しました。

（11月6日・7日 山下地域交流センター 179人）

なお、イベント開催に向けては、公募により集まった子ども実行委員とまちの仕組みについて企画し、イベント当日に使うお店等を制作しました。（実行委員数：38人）



イベント当日の様子

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

19 アートによる緑区の魅力発信事業

4,713,087 円

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、アートイベントを実施しました。

(1) 山下学舎（まなびや）文化祭

小学生向けの黒板アートワークショップ、黒板アート作品・農機具等の展示、区内小学校の子どもたちの作品展示等の実施（11月9日～28日 山下地域交流センター）

(2) 十日市場まちかどアートフェスティバル

ひかりの実の制作ワークショップ・作品展示、工事仮囲い等を活用したアート作品の展示等の実施（10月30日～11月21日 十日市場センター地区 20・21 街区ほか）

(3) インクルーシブダンス（Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021 共催事業）

東洋英和女学院大学教授によるインクルーシブダンスワークショップ等の実施（10月10日、11月14日ほか 緑区民文化センター）



黒板アートワークショップ

20 みどり環境行動啓発事業

765,055 円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施しました。イベント開催に伴う3密を避けるため、聴講者の人数制限を行うとともにZoomを活用しました。（2月26日 73人）

また、ワンウェイ・プラスチックの削減を目的として、スーパーマーケットでの店頭啓発（6月30日、11月25日）やパネルの巡回展示（11月9日～19日 東洋英和女学院大学、2月2日～4日 緑区役所）を行いました。

21 読書活動推進事業【拡充】

480,689 円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めました。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

ア 青少年向け読書啓発事業「中高生選抜！私の推し本」

【新規】

協力校の生徒から図書を推薦してもらい、上位作品を発表（応募 355 件 中学生の部 1 位「十五少年漂流記」、高校生の部 1 位「ONE PIECE」）

- ・ 募集期間：10月1日～29日
- ・ 展示期間：11月10日～12日（区役所）11月13日～30日（図書館）
- ・ 企画協力：鴨居中学校、霧が丘高等学校



中高生選抜！私の推し本

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

イ 区民まつりにおける読書啓発イベント「かえっこBOOK（本の交換会）」【中止】

ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業

・作品数 140 貸出数 951

エ 「おすすめの絵本紹介冊子」制作（1,000部）

（2）ボランティアの育成

中高生図書館ボランティア体験事業（8月5日 7人）

（3）ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

・区内4地区センター 貸出数 329

（4）区の特성에応じた読書活動の推進

読書活動推進連絡会開催【書面開催】、「読書まっぷ（読書活動推進目標記載）」配布、まちライブラリー支援事業等

22 緑・芸術文化事業

1,808,246円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供を行いました。

また、区内芸術文化団体や学校と連携してオリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みました。

（1）緑・芸術祭事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

（ア）緑区民音楽祭（緑公会堂等）

安価で質の高い演奏会の開催（邦楽9月19日）【中止】、若手新人演奏家発掘のためのオーディション（声楽部門3月24日、ピアノ部門3月28日）

（イ）緑区コーラスのつどい（緑公会堂）【中止】

（ウ）創造と森の声2021（里山ガーデン及び横浜動物の森公園植物公園予定地）

・第1回 4月25日～5月5日 約450人来場

・第2回 9月19日～10月17日 約400人来場

（エ）公募事業を対象とした支援【13件、うち9件中止】

イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興

（ア）サークルミニギャラリー（緑区役所 写真展4回：4月19日～23日、11月22日～26日、2月21日～25日、3月14日～18日）

（イ）緑区民文化センターとの連携事業

お昼のロビーコンサート（緑区役所 4回、うち3回はWEB配信 第4回の落語（3月28日）は現地開催）

・Web配信視聴回数 第1回：約400回、第2回：約500回、第3回：約500回

（2）交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の交流・育成を図ることを目的として「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をしました。

（7団体 緑区役所）

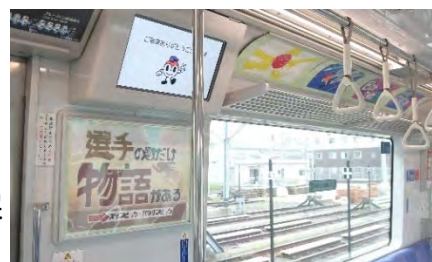
また、「DanceDanceDance@YOKOHAMA2021」との連携事業として、「絵本でDanceDanceDance!」を実施しました。（10月21日、11月7日・23日）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(3) Art Trainでオリパラ応援事業

県立白山高校美術科と連携し制作した、オリンピック・パラリンピックをテーマにしたアート作品をグリーンライン車輻内に貸切展示し、芸術文化の面から盛り上げました。(7月7日～9月6日)

併せて、区役所(1階エレベータホール前)にて原画展を実施し(7月12日～8月6日)、横浜市YouTube公式チャンネルにて車内動画を配信しました。



アート作品をグリーンライン車輻内に展示

23 3R推進事業【拡充】

1,575,470円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開しました。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催(5月20日)【総会は書面開催】

(2) 3Rの普及・啓発

ア 保育園等への出前講座の開催

・明日葉保育園(7月15日)、中山保育園(7月29日)など8園で開催

イ 店頭キャンペーン

(ダイエー十日市場店(6月30日)、イオン鴨居店(11月25日))

ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発

・プラスチック削減啓発展示(2月1日～4日)

エ 広報よこはま緑区版などを活用した啓発(4月、1月、2月)

オ 緑ECO通信の自治会班回覧(7月、3月)

カ 転入者向け啓発・分別相談(4月、3月)

キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理

ク フードドライブの推進【新規】

令和3年10月より区役所、資源循環局緑事務所、地区センターなど6つの施設に食品回収ボックスを常設し、各家庭で使い切れない未使用食品等を集めて、緑区社会福祉協議会等に提供しました。(2,527点 718.0kg)

24 きれいなまちづくり事業【拡充】

2,236,570円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開しました。

(1) 花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽(5月8日・20日、11月6日・18日 約8,000株ずつ配付)

(2) 地域ふれあい活動事業

ア 地域清掃活動団体への支援(地域清掃用ごみ袋の配布:29,640袋、33団体)

イ 不法投棄対応(区役所通報件数:24件)

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清潔保持

(ア) 地域住民・商店街・事業者による中山駅周辺早朝清掃を実施(11月26日)

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催

中山駅（11月26日、早朝清掃と同時実施）

十日市場駅（11月29日、星槎学園生徒による清掃活動と同時実施）

ウ みどりサンタプロジェクト2021の実施【新規】

小学生（16人）と東洋英和女学院大学SDGs研究会の学生（18人）が、サンタ帽をかぶって地域のごみ拾いを行い、まちに「笑顔」と「きれい」をプレゼントしました。

（12月11日）



みどりサンタプロジェクト

25 緑区商店街振興事業【重点】

2,676,910円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで集客力を高め、地元商店街の活性化につなげました。



商店街PRポスター

(1) 「商店街 Special Week」

区内7商店街のキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所や駅などの公共スペースに掲出するとともに、広報紙の活用やマスメディアと連携したPRを行い、商店街の活性化につなげました。（2年間で7商店街を一巡し、令和3年度は緑新栄会、中山商店街協同組合、霧が丘商店会、谷津田原商栄会で実施）

(2) 「緑区商店街ポイントラリー」（事業内容変更）

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、「緑区商店街ポイントラリー」を企画しましたが、商店街の皆様との意見交換を重ねた結果、消費者がより気軽に参加できるように企画内容を変更し、「商店街でお買い物！景品プレゼントキャンペーン」を実施しました。（1月11日～2月10日 応募総数：3,051件）

また、地域情報誌において、区内7商店街の魅力を発信する特集記事を掲載しました。

（3月）

26 区民まつり事業【拡充】

3,714,816円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代が参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施する予定でしたが、開催日時点の新型コロナウイルス感染状況が見通せなかったため、開催を見送りました。

区民まつり代替企画として、緑区10大ニュースの募集や地域活動団体の特別動画の作成など、区民の皆様が絆やつながりを感じられるような「あゆみフェスティバル」を開催し、「緑区川柳コンテスト」や「子ども会書道展」と連携して区民まつり特別賞を設けました。

（緑区10大ニュース募集12月1日～31日 応募1,818件、あゆみフェスティバルホームページ閲覧回数 約3,200回）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

27 地域振興事業

1,714,249円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築しました。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、表彰式を実施し、永年在職の自治会長に感謝の意を表しました。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長5年在職者に区長から感謝状を贈呈。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、市長名で表彰

【感謝会は中止し、規模を縮小し、表彰式のみ実施（3月29日）】

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し実施

28 市民活動パワーアップ支援事業【拡充】

2,509,537円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会（5つの部会で構成）との協働により区民主体で事業を企画・実施しました。

また、地域で新たに始まる公益的活動に対して、補助金を交付しました。

(1) 市民活動セミナー等の開催

ア 市民活動セミナー【中止】

イ 地域福祉セミナー【中止】

ウ 防災・減災講座「親子向け防災講座」
（11月14日オンライン併用 現地14人
Zoom9人）

エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座
（8月22日・23日）【中止】



防災・減災講座（みどり一む）

(2) 市民活動団体交流事業の開催

ア Open!みどり一む（7月18日 オンライン開催（YouTube 配信）、10月31日 仮装撮影スポット144人、2月13日 オンライン併用 現地11人 Zoom18人）

イ みどり市民活動交流会【9月12日延期、1月23日規模縮小 講演録画配信18人】

ウ みどり一むまつり（3月）【中止】

エ サロンふらっと（隔月第3日曜日）（4月18日【中止】、6月20日 23人、8月15日 22人、10月17日【中止】、12月19日【中止】、2月20日【中止】）

(3) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催

ア「横浜線ものがたり」（9～11月）【中止】

イ「自然を楽しむ講座」（10～11月）【中止】

ウ「めざせ YouTuber！」（1～2月）【中止】

エ「我が子のSNSの使い方」（2月）【中止】

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(4) 緑区地域施設間連携会議

- ア 緑区地域施設間連携会議（10月21日オンライン 18施設）
- イ 施設間連携研修会（2月3日オンライン 24施設）

(5) パソコン相談コーナーの運営（緑区市民活動支援センター）

- ア 「めだかの学校」パソコンなんでも相談（毎週火・木・土曜日）
- イ 「めだか塾」パソコン初心者講習会（年10回）

(6) IT講習会の開催（各地区センター）

- スマートフォン講習、オンライン講習等（年10回）

(7) 緑区地域課題チャレンジ提案事業スタートアップ【新規】

- 新たな公益的活動に対する補助金の交付（13団体）

29 みどりスポーツ振興事業

1,114,638円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めました。

(1) 緑区スポーツ協会事業

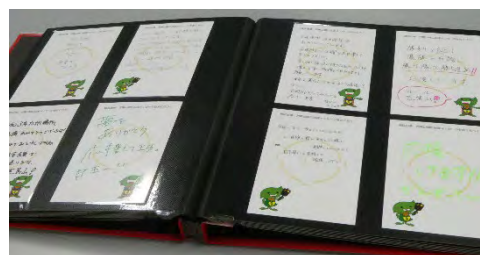
- 加盟する団体等の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル【中止】

- 緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（緑スポーツセンター）

(3) みどりスポーツ振興事業

- ア 「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催、またその終了後を見据え、区民がアスリートや新たなスポーツ競技を身近に感じる機会の提供や、スポーツ文化を通じた多様な社会の実現や理解促進を目指した取組を実施
 - ・1964年東京パラリンピック映像上映イベント（6月26日 20人 みどりアートパーク）
- イ 緑区ランニングフェスタ2021の開催（12月）【中止】
- ウ プロスポーツチーム等連携事業
 - ・緑区出身初の関取 荒篤山関応援事業として、応援メッセージ募集や横断幕掲示を実施（11月）
- エ スポーツ体験会や講演会等
 - ・ラジオ体操講習会（2月20日）【中止】



荒篤山関への応援メッセージ

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

30 広報・広聴事業

2,470,277円

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるため、区民生活・防災マップを作成したほか、緑区ウェブサイト等を活用し、様々な広報活動を実施しました。

また、区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するため、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握しました。

(1) みどり区区民生活・防災マップ発行事業

みどり区区民生活・防災マップを発行（3月 15,000部）

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供でき、かつ人との接触が避けられる長所を活かし、効果的な緑区ウェブサイト等の運用を行うほか、民間広報媒体とも協力して広報を行いました。また、職員向け広報スキルアップ研修は、コロナ拡大により動画視聴とチラシ添削に変更して実施しました。（1～2月 11人）

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案（30件）をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図りました。

(4) 緑区「ふれ愛トーク」

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換をする場として実施【中止】

(5) 駅PRボックス活用事業

区内4駅（6か所）のPRボックスに広報よこはま緑区版の特集ページの掲出や、区の事業に関するチラシの配架、広報よこはまの補充を行いました。（毎月1日、10日）

(6) 区内企業と連携した広報発信力の強化

令和3年3月に本市と包括連携協定を締結した日本郵便株式会社南関東支社との連携により、区内の郵便局でのイベントチラシ等の広報印刷物の掲示及び配架を行いました。また、令和3年5月に本市と包括連携協定を締結した株式会社良品計画との連携により、令和4年1月から区内の無印良品店舗において、毎月テーマを設定して区の事業PR、広報印刷物の掲示及び配架を行いました。



無印良品の区役所情報コーナー

31 区民から親しまれる区役所づくり事業

17,556,421円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組みました。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行いました。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図りました。

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会及び職員向け人権啓発研修等の実施【中止】

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を実施（個人：3名、団体：1団体）

荒篤山関	緑区初の関取としてスポーツ振興に貢献
江下 光利 (創作和太鼓集団打鼓音)	「太鼓祭 2021 日本一決定戦（大太鼓）の部」で優勝
柳下 璃央 (白山スポーツ少年団)	「全国小学生バドミントン選手権（5年生以下女子ダブルス）」で第3位に入賞
横浜市立田奈中学校 トロンボーン四重奏	「全日本アンサンブルコンテスト（中学校の部）」で金賞



緑区表彰（荒篤山関）

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行いました。（1階相談室移設改修、番号発券機更新等）

また、来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化を進めました。

令和3年度新型コロナウイルス感染症対策に関する執行状況（自主企画事業費）

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年度執行内容を見直し、新たに新型コロナウイルス感染症対策やコロナ禍における事業展開を行いました。

(千円)

令和3年度自主企画事業費予算額	97,618
見直し金額	▲ 13,965
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	13,064

見直し内容	▲ 13,965
新型コロナによるイベントの中止等	
・区民まつりの中止（区民まつり事業補助金等の残）	▲ 3,069
・商店街ポイントラリーの中止	▲ 1,317
・その他（各種事業の中止、一部中止等：20事業）	▲ 9,579

新型コロナウイルス感染症対策等への活用	13,064
1. 庁舎内や事業実施に係る感染症予防対策物品の購入等	4,356
・コロナ対策物品の購入、レンタル	
2. コロナ禍における事業展開に係る費用	3,195
・代替事業の実施、実施手法の変更	
・イベント等のオンライン開催	
3. 新しい生活様式を踏まえた環境整備	5,000
・番号発券機更新（窓口混雑状況配信システム導入）	
4. 感染症対策関連情報の広報に係る費用	513
・タウン誌への紙面掲載（ワクチンのご案内）	

令和4年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R04予算	R03予算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,757	17,407	350		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,997	7,867	130	総務課、福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820	1,820	0	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		3,774	3,554	220	地域振興課	5
4	交通安全施設等整備事業		2,500	2,500	0	土木事務所	6
5	暮らしの衛生推進事業		1,666	1,666	0	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			21,742	21,734	8		
6	健康たうん・みどり推進事業		3,458	2,586	872	福祉保健課	8
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		4,295	5,877	△ 1,582	福祉保健課	9
8	あんしん子育てネットワーク事業	重点	8,100	7,998	102	こども家庭支援課	9
9	保育所すこやか子育て支援事業		2,170	2,367	△ 197	こども家庭支援課	11
10	DV対策・児童虐待防止事業		645	645	0	こども家庭支援課	12
11	青少年地域サポート事業		1,151	1,373	△ 222	地域振興課	12
12	高齢者生きがい推進事業		463	463	0	高齢・障害支援課	12
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業		460	425	35	高齢・障害支援課	13
14	地域特性データ集作成事業	新規・重点	1,000	0	1,000	高齢・障害支援課、福祉保健課	13
③ みどりの魅力あふれるまち			58,084	58,477	△ 393		
15	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点	5,000	5,000	0	土木事務所	14
16	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		3,000	4,600	△ 1,600	土木事務所	14
17	魅力ある公園づくり事業	新規	1,000	0	1,000	土木事務所	14
18	とれたてみどり地産地消推進事業 (令和3年度:みどり!まるごと応援事業)		2,867	5,148	△ 2,281	区政推進課	15
19	みどり地域まちづくり推進事業		2,695	2,348	347	区政推進課	15
20	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500	3,500	0	区政推進課	16
21	ふるさとみどり魅力発信事業	新規・重点	7,512	0	7,512	区政推進課	16
22	みどり環境行動啓発事業		1,000	900	100	区政推進課	17
23	読書活動推進事業		500	500	0	地域振興課	17
24	緑・芸術文化事業		2,160	2,361	△ 201	地域振興課	18
25	3R推進事業		2,258	2,258	0	地域振興課	19
26	きれいなまちづくり事業		2,498	2,498	0	地域振興課	19
27	緑区商店街振興事業		2,706	3,169	△ 463	地域振興課	20
28	区民まつり事業		5,600	5,600	0	地域振興課	20
29	地域振興事業		2,189	2,189	0	地域振興課	20
30	市民活動パワーアップ支援事業		3,462	3,462	0	地域振興課	21
31	みどりスポーツ振興事業		1,854	1,720	134	地域振興課	22
32	広報・広聴事業		2,643	2,763	△ 120	区政推進課	22
33	区民から親しまれる区役所づくり事業	拡充	5,640	5,461	179	総務課	23
	アートによる緑区の魅力発信事業 (ふるさとみどり魅力発信事業に統合)		0	5,000	△ 5,000	区政推進課	
合計			97,583	97,618	△ 35		

令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算総括表

[単位：千円]

区 分	R04予算	R03予算	増△減
1 自主企画事業 (33事業)	97,583	97,618	△ 35
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,757	17,407	350
(2) いきいき暮らせるまち (9事業)	21,742	21,734	8
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	58,084	58,477	△ 393
【重点事業】 5事業 予算額 29,609千円 ◆災害に強いまちづくり事業 7,997千円 * (1) で計上 ◆あんしん子育てネットワーク事業 8,100千円 * (2) で計上 ◆地域特性データ集作成事業 1,000千円 * (2) で計上 ◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 5,000千円 * (3) で計上 ◆ふるさとみどり魅力発信事業 7,512千円 * (3) で計上			
2 統合事務事業費	44,622	44,487	135
(1) 統合事務費	24,764	24,743	21
(2) 統合事業費	19,858	19,744	114
3 区庁舎・区民利用施設管理費	595,854	597,723	△ 1,869
(1) 区庁舎等	102,537	104,957	△ 2,420
(2) 地区センター等	424,710	423,043	1,667
(3) 公会堂	41,078	41,625	△ 547
(4) 国際交流ラウンジ	14,400	14,400	0
(5) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,010	7,579	△ 569
(6) その他(広場・遊び場等)	6,119	6,119	0
合 計	738,059	739,828	△ 1,769

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 17,757千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】

7,997千円

避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害警戒体制早期確立のため、緊急時初動対応グループ研修を実施（4月11日）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に風水害研修及び区本部訓練を実施（6月、1月）
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（9月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ 避難指示等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品（圧縮タオル、冷感タオル）を拡充

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）
- オ 新任運営委員を対象に基礎的な内容の避難所運営研修の実施（6月25日）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月9日・11日）
- キ 女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品（防犯ブザー、人感センサーライト）の購入【新規】



新任運営委員対象研修（区役所）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災ネットワーク運営委員会（4月22日）
- イ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月28日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）
- エ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（2月）
- オ 防災講演会の実施（3月11日 緑公会堂）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 感染症禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを配布
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ 自治会・事業者などを対象にマイタイムラインやARアプリ等を活用した減災行動の啓発や、感染症禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- オ 地域が抱える防災に関する課題の解決を支援するため、地域防災拠点運営委員会や自治会等に専門家を派遣【新規】（8月～受付開始）

(5) 各種マップの増刷

- ハザードマップ等各種マップの増刷

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施（9月）
- イ 保健活動グループの訓練の実施（11月）

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業【新規】

年々増加する外国人居住者に向けた防災マップガイドブック等を東洋英和女学院及びみどり国際交流ラウンジと連携して作成

(9) 妊産婦（要援護者）に向けた減災啓発支援事業【新規】

- ア 妊婦や子どもを持つ家庭に向けた災害に備えての準備などをまとめたリーフレットを作成し、母親教室等で配布
- イ 災害時用の離乳食を備蓄し、啓発用としても活用
（離乳食教室3回、乳幼児健診2回）

(10) 新型コロナウイルス感染症対策事業

地域防災拠点の新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りテント及びベッド等を購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

1,820千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

- ア 総会の開催（5月18日）
- イ 活動内容
 - (ア) 防犯パトロール物品等の提供
 - (イ) 啓発活動
 - a 特殊詐欺防止等キャンペーン（警察と連携）
（駅頭キャンペーン（6月6日鴨居駅・8日中山駅）、緑警察署防犯キャンペーンと連携したチラシ配布（10月）
 - b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）（10月16日）
 - (ウ) 防犯リーダー養成講座の開催（各連合自治会の防犯関係者対象）

(2) 振り込め詐欺被害防止事業

防犯協会の防犯ポスターコンクールの入賞作品のうち、特殊詐欺に関する作品について、バスラッピングによる啓発（12月）【新規】

(3) 情報提供・啓発の充実

- ア 緑区防犯情報メールの配信
緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信
- イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発
- ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載（12月）
- エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実
情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

3 交通安全対策事業

3,774千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発に重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月20日）

【総会は書面開催、功労者表彰式は人数を絞って開催（3団体、6個人を表彰）】

イ 幹事会の開催（4回）（第1回：5月20日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日

（4月6日 鴨居駅周辺 約60名）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月11日 十日市場駅周辺 約60名）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日

（9月21日 交通安全緑区民大会）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月10日 中山駅周辺）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月12日 霧が丘高校、5月20日 白山高校）

（ウ）自転車駐車で啓発（鴨居駅：6月14日、十日市場駅：6月17日、長津田駅：6月21日、中山駅：6月24日）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

（ア）シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（4回）（第1回：6月2日）

（イ）高齢者向け交通安全教室（緑区交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月）

イ 児童交通安全教育・対策

（ア）ランドセルカバー贈呈

ミドリンをデザインしたランドセルカバーを作成し、新1年生に配付（約1,600人分）【新規】

・贈呈式（4月 長津田第二小学校）【中止】

（イ）はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施

（上山小学校：5月27日、霧が丘学園小学部：5月31日、

鴨居小学校：6月1日、いぶき野小学校：10月実施予定）

ウ スクールゾーン対策

（ア）スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施

（4月25日 緑区役所）

（イ）スクールゾーン対策協議会への助成

（ウ）電柱巻標識、路面標示の新設・補修

（エ）横断旗等の配布（1月）

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止推進協議会の開催（十日市場駅：7月13日、長津田駅：7月22日、鴨居駅：7月27日、中山駅：8月1日）



ミドリブランドセルカバー

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ クリーンキャンペーンの実施（10月 区内4駅）

4 交通安全施設等整備事業

2,500千円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。

(1) 交通安全施設等整備事業

ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4～7月）

イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7～8月）

	整備内容	予定箇所
新設	路面標示（速度落とせ、歩行者注意等）	東本郷、北八朔町、長津田
補修	区画線（外側線、中央線等）	上山、中山、霧が丘
	あんしんカラーベルト	三保町

ウ 交通安全対策

路面標示の新設、区画線・あんしんカラーベルトの補修等の実施（9月～3月）

5 暮らしの衛生推進事業

1,666千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

・小学校等への出張講座による、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発の実施（通年）

イ 広報よこはまへの記事の掲載による周知啓発

・違法なけしについて（5月号） ・夏の食中毒予防について（6月号）

・地域での行事等における食品の取扱い等について（7月号）

・冬季に増加するノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の予防について（関係課と合同で掲載）（12月号）

ウ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン（8月）

エ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施（10月）

オ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月）、HACCP（ハサップ）の導入支援、改正食品衛生法の内容周知

カ 区役所イベントスペースでのパネル等展示による啓発

・薬物乱用防止に関するパネル、標本の展示（5月30日～6月3日）

・食中毒予防啓発パネル等の展示（8月）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

キ 区民まつり等、大規模な行事における食品の衛生的な取扱いについて、関係課と連携し、講習会等を実施して啓発を行う。(通年)

(2) 人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

(ア) 飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施(11月)

(イ) 窓口でのチラシ等配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示(8月)

ウ 動物の適正飼育啓発

広報よこはまに猫(飼い猫及び飼い主のいない猫)について特集記事を掲載(9月号)

(3) 安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

虫の日(6月4日)にあわせ、衛生害虫啓発のパネル等展示(6月、8月)

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

ウ 区民に向けた啓発

広報よこはまにハチ(5月号)及び蚊(6月号)に関する注意喚起の記事を掲載

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催(8月27日)

(ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供

(エ) 災害時に使用できるよう、希望する地域防災拠点にペット同行避難スターターキットを配備【新規】

(オ) 飼い主に向けた啓発

広報よこはまにペット防災の特集記事を掲載(1月号)

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発



ペット同行避難スターターキット

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち

21,742千円

6 健康たうん・みどり推進事業

3,458千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

(2) 思いやり、健康づくりの日事業【8～9月中止】

ア 健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発を含む）、推定野菜摂取量測定の実施（5月10日、6月21日、10月～3月）（6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

イ 食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施
（5月10日、6月21日、10月～3月）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援（6月30日、7月13日）

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

（ア）食育月間キャンペーン

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯科相談、健康チェック、地場野菜の販売等の啓発を実施（6月21日 思いやり健康づくりの日と同時開催）

（イ）食育の日キャンペーン【8月中止】

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科相談等による食育啓発を実施（5月11日、10月）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施

ウ 緑をたっぷり召し上げれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（6月21日）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（5回）

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

4,295千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、令和3年度に策定を完了した第4期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進します。

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

「みどりのわ・ささえ愛プラン」については、推進策定委員会の意見等を踏まえて、各地区共通の課題や区域の課題に対する取組を進めます。また、各地区の計画については、地区別計画推進策定委員会等において推進に係る検討が進められるよう支援します。

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催

(6月24日、3月 2回)

イ 地区別計画推進策定委員会の開催(11地区)

各地区2回以上開催(6~9月、11月~2月)

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催(5月26日、2月 2回)

エ 第4期計画推進に係る報告書の発行及び講演会の開催

オ 地区別計画の推進のための支援



みどりのわ・ささえ愛プラン
冊子・地区別リーフレット

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員は高齢者に対し電話での安否確認を年間約800回、定期的な訪問を約14,000回実施していますが、別途、健康福祉局所管の「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』推進事業」への協力として、民生委員、地域包括支援センター、区役所高齢・障害支援課のいずれともつながりのない高齢者を中心に、訪問等による状況確認を実施します。その際、はがきや手紙などにより事前に生活状況等を確認することで民生委員の負担を軽減します。(9~10月)

また、活動をサポートするため担当エリアを明確にした「活動マップ」を、増員や宅地開発などによる受持ちエリアの変更等に合わせ更新します。(11月、1地区)



民生委員の見守り訪問

8 あんしん子育てネットワーク事業【重点】

8,100千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援(7月末時点)

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。

(緑区役所 年12回、うち4回実施)

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。

(14か所の会場で各9回 計126回、うち42回実施)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。
(1日コース9回、うち3回実施、2日コース3回、うち1回実施)

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。(個別相談15回、うち5回実施、スーパーバイズカンファレンス年1回)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。(1団体)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。

ウ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。

エ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内(5月2,000部、10月3,000部)、よくある質問に答えるリーフレットを発行します。

オ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

カ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成します。

(4) 新型コロナウイルス感染予防対策

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

9 保育所すこやか子育て支援事業

2,170千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」、園庭やホールを開放し、地域の人に利用してもらう「施設開放事業」などを実施します。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」については、人が密にならない形での代替行事を実施することで、地域の保育ネットワークの連携を強化し、地域の子育て支援を推進するとともに、次年度以降の集合形式再開につなげていきます。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

令和4年度は、区内の保育施設や公園を会場に、未就学児やその保護者が緑区オリジナル体操「ミドリんたいそう」を楽しむイベントを開催します。また、各会場での様子を撮影し、一つの動画に編集し、ホームページで公開します。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを保育施設、市民利用施設に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 施設開放の拡充

十日市場保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の施設開放（園庭開放・ホール開放）を実施し、子育て支援の充実を図ります。

エ 離乳食ランチ交流【4月～中止】

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

10 DV対策・児童虐待防止事業

645千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。

また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施

(年12回(24件)、うち2回(4件)実施、2回中止)

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修

(年2回実施)

11 青少年地域サポート事業

1,151千円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等が行う青少年向けの事業に対し、経費の一部を補助(6月)

(9月に追加募集予定)

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業運営費

区民まつりに協力できる小中学生ボランティアを募集し、地域の交流活動への参加を支援【中止】

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

東京工業大学と連携した小・中学生向け科学実験体験講座を実施(2月19日)

12 高齢者生きがい推進事業

463千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル(3月)

イ 囲碁・将棋大会(12月)

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

ア 区民まつりにおける啓発グッズの配布

イ 老人クラブ啓発用封筒の印刷

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業

460 千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させます。また、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進します。

(1) 共同販売の推進

- ア 区役所での共同販売「みどりハートフルマーケット」の場の設定
- イ 販売チラシ作成

(2) 商品の魅力アップ支援

商品（自主製品）及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビット」（令和2年度作成）の改訂

(3) 障害理解の促進

- ア 障害者週間に合わせた啓発イベント開催（12月）
- イ 障害者週間に合わせて区内障害福祉施設等を巡るスタンプラリー実施（11～12月）

14 地域特性データ集作成事業【新規・重点】

1,000 千円

令和2年国勢調査の数値等を活用し、地域の状況や課題の共通認識を持ち、地域特性（強み・弱み）に応じた事業を展開するためのデータ集を作成します。また、GIS（地理情報システム）を多用した、見やすいデータ集を作成します。

(1) 区全体の人口等に基づく基本情報及び個別情報等のデータ集

(2) 地区別のデータ集

- ア ケアプラザ所長会、みどりのわささえ愛プラン事務局会議での周知とデータ項目に関する意見募集（6～7月）
- イ 関係課へのヒアリングによるデータ項目選定（7～8月）

(3) 各種データのホームページでの掲載

③ みどりの魅力あふれるまち 58,084千円

15 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点】 5,000千円

花と緑あふれるまちづくりを目指すため、街路樹の補植を実施し、道路の緑化を進めるとともに、公園愛護会やハマロードサポーター、自治会等の区民が交流を図りながら花苗講座を受講することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成します。



花と緑のサポーター養成講座
(緑土木事務所)

(1) 街路樹の補植

補植の実施(山下長津田線など)(8月～3月)

(2) 花と緑のサポーター養成講座

2グループに分けて実施(全10回 公園愛護会、自治会等から41名受講)

- ・第1回：4月28日 ・第2回：6月1日・2日 ・第3回：6月23日
- ・第4回：7月14日 ・第5回：8月25日 ・第6回以降：9月～3月

16 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業 3,000千円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信します。

(1) インターネットなどを活用した情報発信

市民ボランティアの活動状況をみどりフォトニュースなどに紹介(通年)

(2) カレンダー等の配布

緑区の生物多様性をテーマにカレンダー等を製作・印刷して小学校に配布(6～12月)

(3) サインボードの設置

緑区の生物多様性をテーマにサインボードを製作・設置(2箇所)

(4) リーフレットの配架

緑区の生物多様性をテーマにリーフレットを作成し、区役所や駅など人が集まる場所に配架(6～12月)

17 魅力ある公園づくり事業【新規】 1,000千円

コロナ禍で身近な公園が注目されている一方で、公園愛護会員の高齢化が進み、十分な維持管理が困難な公園も存在します。公園愛護会のモチベーション向上と活性化を図るための事業を実施して適切な維持管理を継続し、親しまれる公園づくりを図ります。

(1) 公園愛護会 PR 資料作成

ア 公園愛護会の紹介記事原稿を作成し、広報よこはま緑区版2月、3月号に掲載(令和4年度は15公園愛護会を対象予定)

イ 広報よこはま緑区版に掲載する公園愛護会特集記事の原稿を作成



公園愛護会の活動の様子(谷津田原公園)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 公園カレンダー作成

公園花壇に咲く花や愛護会の活動状況を紹介するカレンダーを作成し、公園愛護会に配布

18 とれたてみどり地産地消推進事業

2,867千円

緑が豊かで農業の盛んな緑区において、区庁舎での農産物直売所、地産地消講座、地産地消みどりグルメスタンプラリーなどを実施することで、緑区の農の魅力幅広く区民に発信するとともに、地産地消の推進を図ります。

(1) 区庁舎直売所事業

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をもっとPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。(毎週火・木曜日)

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。(5月13日、6月17日、7月8日、10月21日、11月11日、12月9日 緑区役所)

(2) よこはま地産地消サポート店を通じた地産地消促進事業

「農」に関する飲食店への情報発信や区民、農家、飲食店との交流会、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、飲食店における地産地消を促進します。また、令和元年度に行った飲食店調査結果を活用し、よこはま地産地消サポート店の登録促進を行います。

(3) 地産地消情報発信事業

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。また、「地産地消みどりグルメガイドマップ」「とれたてみどり緑区直売所マップ」「みどりとれたてレシピ集」を改訂します。

(4) 地産地消講座事業

畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。(7月13日ほか1回)

19 みどり地域まちづくり推進事業

2,695千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組みに応じた支援を行います。また、新たな地区での支援についても、専門家派遣等により対応します。

ア 山下地区(山下地区安全・安心まちづくり協議会)

(ア) 山下地区安全・安心まちづくりプラン実現に向けた支援

・まちづくり委員会2回開催(5月、7月)

(イ) 山下地区ささえあいバス運行支援

・ささえあいバス委員会2回開催(4月、6月)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- ・利用促進支援（利用会員143人（6月13日現在））
- ・バスルート・ダイヤ改定（4月5日）
- イ 東本郷地区（東本郷まちづくり協議会）
東本郷地区まちづくりプラン実現に向けた支援
- ・協議会4回開催（毎月）
- ウ 十日市場地区（十日市場駅周辺活性化協議会）
「いちば」（夏と冬の年2回予定）
- ・夏の「いちば」3日間開催（6月25日・26日、7月2日）



十日市場の「いちば」

（2）山下地域交流センター活用事業

地域に愛される市民利用施設となるよう、地域と一緒に耐震補強等工事後を見据えた施設活用や運営方法等を検討していきます

（3）緑区案内・誘導サイン等維持管理事業

区内に設置している案内・誘導サインについて、計画的かつ効率的に改修・更新を行っていきます。

また、バリアフリー基本構想の策定やまちづくりの進捗等に応じて、案内サインの新設・撤去や情報更新を継続的に実施していきます。

（4）地域のつながり支援事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等を無償で利用してもらう一方、所有者に対し奨励金を支払います。

20 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

3,500千円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを実施します。（11月12・13日 長津田地区センター）

イベント開催に向けて、公募により集まった子ども実行委員と会議を実施し、まちの仕組みについて企画するとともに、イベント当日に使うお店等を制作します。

- ・実行委員数：39人（7月末時点）
- ・公募：4月28日～5月20日、応募者：79人
- ・会議：6月12日、7月26日、8月9日、9月4日、10月23日



子ども実行委員会の様子

21 ふるさとみどり魅力発信事業【新規・重点】

7,512千円

地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、住みたい、住み続けたいと思える緑区を目指すため、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を区民とともに見つけ、市内外に広く発信していきます。

（1）緑区プロモーション戦略策定事業

緑区の人口は、港北区や鶴見区等の市中心部からの転入超過による社会増が続いていましたが、令和4年1月1日時点の推計人口では前年同月比で106人の減少となりました。近隣の町田市や相模原市等への転出も一定数見受けられており、転出入等の実態を把握するためのアンケート調査を実施します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

また、アンケート調査の結果や、新設された政策局シティプロモーション推進室が年度内に策定予定の「戦略的広報プロモーションの基本方針（仮称）」等も踏まえて、今後の移住・定住促進及びシティプロモーション等の施策を区役所全体で効果的に推進するため、「緑区プロモーション戦略」を策定していきます。

(2) アートによる緑区の魅力発信事業

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、昨年度に引き続き「山下学舎文化祭」を開催しました。



黒板アート(白山高校卒業生制作)

(8月16日～21日 山下地域交流センター)

また、新たにアート作品やフォトコンテスト入賞作品等のラッピングバスを2台運行し、区内外の街を行き交う方やドライバーなどに緑区の魅力を広く発信します。

(3) 緑区フォトアーカイブ事業

区内の移り変わりを写真で残し、オープンデータ「緑区フォトアーカイブ」として提供します。また、「緑区フォトコンテスト2022」（応募期間10月3日～11月30日）を実施し、入賞作品をオープンデータとして提供します。昨年度フォトコンテストの入賞・佳作作品を活用してカレンダーを作成します。（秋頃 1,000部）

(4) 緑区遺産事業

区内にある有形の歴史的・自然的・文化的地域資源を「緑区遺産」として登録し、緑区遺産紹介冊子、看板等設置補助により、事業PRを図ります。（7月末現在の登録数 21件）

自由参加型のウォーキングイベントとして、「緑区遺産巡り」を開催し、参加賞として巡った場所の「緑区遺産カード」を区役所1階で配付します。（8月15日～12月28日）



緑区遺産カード

(表面：写真／裏面：解説)

22 みどり環境行動啓発事業

1,000千円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施します。イベント開催に伴う3密を避けるため、聴講者の人数制限やオンラインを活用します。

また、スーパーマーケットの店頭において、省エネ行動や3R行動、ワンウェイ・プラスチック削減などを啓発します。（6月22日ほか1回）

23 読書活動推進事業

500千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

- ア 青少年向け読書啓発事業
- イ おはなし会ネットワークの支援
- ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

エ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」

(2) ボランティアの育成

ア 中高生図書館ボランティア体験事業（8月4日）

イ 横浜創英大学との協働事業

絵本リストの作成、大学生によるおはなし会（11月）

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

(4) 区の特성에応じた読書活動の推進

ア 読書活動推進連絡会（第1回 7月28日）

イ 読書まっふ（第二次読書活動推進目標）配布

ウ まちライブラリー支援事業 等



ボランティアの育成

24 緑・芸術文化事業

2,160千円

区民が芸術文化を通じて創造性のある心豊かな暮らしができるよう、身近な場で多様な表現活動に触れることのできる機会確保を目指し地域芸術文化団体の活動支援を実施します。

また、表現活動を実践する新たな人材の確保・育成を図ると共に、より裾野を広く区民が文化芸術に興味を持てる機会の提供を行い、緑区内における文化芸術振興を図ります。

(1) 緑・芸術文化活動支援事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

(ア) 緑区民音楽祭実行委員会

安価で質の高い演奏会の開催、若手新人演奏家発掘等（みどりアートパーク）

・第139回ふれあいコンサート「輝かしきカルテットの仲間たち」（6月26日）

約180人来場

・第140回ふれあいコンサート「第6回緑区民音楽祭新人演奏会」（9月11日）

(イ) 緑区コーラスの会

・緑区コーラスのつどい（10月23日 みどりアートパーク）

(ウ) GROUP 創造と森の声

・森ラボ2022（4月24日～5月15日（約300人来場）、9月18日～10月23日

里山ガーデン、横浜動物の森公園 植物公園予定地）

(エ) 公募事業を対象とした支援（文化芸術イベントが対象）

イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興

(ア) 「お昼のロビーコンサート」開催

（年4回、緑区民文化センターと連携開催

7月25日、10月24日、12月21日、3月6日）

(イ) 「サークルミニギャラリー」開催

（年6回、区内文化系団体による展示

5月23日～27日写真、7月26日～29日写真、8月29日～9月2日写真・絵画、

11月21日～25日、2月20日～24日、3月13日～17日）



お昼のロビーコンサート

(2) 交流と人材育成

ア 提案型ロビーイベント（企画公募、年7回）

イ 芸術文化活動の振興を目的としたイベントの実施

若年層の掘り起こしを目的としたワークショップ等の開催（10月～3月）【新規】

ウ 区内芸術文化団体の情報発信（緑区HPで団体紹介ページを作成 通年）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

25 3R推進事業

2,258千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開します。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催（5月18日、4団体7個人を表彰）

(2) 3Rの普及・啓発

- ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催
- イ 店頭キャンペーン（6月22日ダイエー十日市場店、11月）
- ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発
- エ 広報区版などを活用した啓発
- オ 緑ECO通信の発行（7月、2月）
- カ 転入者向け啓発・分別相談（4月、3月）
- キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運用
- ク 緑区フードドライブの推進

26 きれいなまちづくり事業

2,498千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

(1) 花いっぱい活動事業

地域と協働して季節の花苗を沿道に植栽します。（5月7日・19日、11月）

(2) 地域ふれあい活動事業

- ア 地域清掃活動団体への支援
- イ 不法投棄対応

(3) 駅さわやか活動事業

- ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清掃
 - (ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃（5月は雨天中止、11月）
 - (イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃
- イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催
 - 中山駅（6月23日、他1回）、長津田駅（6月28日）、鴨居駅（6月30日）、十日市場駅（6月29日、他1回）
- ウ みどりサンタプロジェクトの実施（12月）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

27 緑区商店街振興事業

2,706千円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの「魅力」を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め、地元商店街の活性化につなげていきます。

(1) 「商店街 Special Week 事業」

区内7商店街の魅力ある写真とキャッチコピーを使用したポスターを制作し、公共スペースに掲出するとともに、マスメディアと連携してPRし、活性化につなげます。令和3・4年度で7商店街を一巡します。(令和4年度は、竹山団地中央商店会、長津田商店街協同組合、鴨居商栄会街の3商店街で実施)



商店街 PR ポスター (3年度)

(2) 「商店街ポイントラリー」

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画します。(3年度は「景品プレゼントキャンペーン」を実施)

今年度も商店街と意見交換を行い、実施事業を決定します。

28 区民まつり事業

5,600千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、様々な世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園及び緑公会堂で開催します。(10月16日(日)10時~15時)



区民まつり会場(元年度)

開催に向けて、実行委員会へ補助金を交付するとともに、会場内での新型コロナウイルス感染症対策の実施や緑区民まつりPRのためのポスター、リーフレットを作成します。

29 地域振興事業

2,189千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。

(3月)



自治会加入促進リーフレット

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、転入者へのご案内のほか、個別の自治会の求めに応じて自治会と連携した取組を進めています。

30 市民活動パワーアップ支援事業

3,462千円

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」を拠点に、緑区市民活動支援センター運営委員会と協力し区民主体による魅力ある地域づくりや自律的な市民社会の形成を目指した事業を実施します。

また、緑区における公益的な活動や地域課題解決への取組を支援するため、地域の公益的活動に対して補助金を交付します。

(1) 講座・セミナー開催事業

ア 防災・減災講座（7月31日）

イ 夏休み子ども体験講座（8月15日～20日）

ウ 市民活動セミナー（6月18日、7月2日 各回11人）

(2) 市民交流事業

ア みどり市民活動交流会（9月25日）

イ サロンふらっと

（4月17日 22人、6月19日 15人、
8月21日、10月23日）

ウ ちょっと先生の講座（11月29日、2月12日）

エ みどりーむまつり

オ Open!みどりーむ

（7月24日オンライン併用（現地12人、Zoom5人）、10月30日、2月11日）



Open!みどりーむ

(3) 生涯学級事業

「横浜線ものがたり」（4月9日 34人、4月22日～6月24日 5回 各回17人）

「自然を楽しむ」（4月12日～6月7日 5回 各回15人）

「めざせYouTuber!」（11月19日～12月17日 5回）

(4) 緑区内地域施設間連携

緑区地域施設間連携会議及び研修会の開催（6月30日 21施設）

(5) 緑区市民活動支援センターのコーディネート機能の強化

ICT活用支援体制の充実を図るため、みどりーむ職員向けのオンライン事業コーディネート機能強化研修の実施と併せて、区民向けにもオンライン会議・イベントを開催する仕組みを学ぶ講座を実施

(6) 緑区地域課題チャレンジ提案事業

公益的活動に対する補助金の交付（13団体）、うち脱炭素化に寄与する活動に対する補助金の交付（5団体）

(7) ばそこんひろば@みどり事業

ア パソコン・スマホ相談コーナー「めだかの学校」の開催

（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- イ パソコン・スマホ初心者対象の講習会「めだか塾」の開催
(緑区市民活動支援センター 毎月1講座)
- ウ パソコン・スマホの機能を学ぶ講習会「IT講習会」の開催
(緑区市民活動支援センター 4講座、各地区センター 4講座)

31 みどりスポーツ振興事業

1,854千円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。

(1) 緑区スポーツ協会事業

加盟する各団体等(15団体、3関連団体)の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、誰もが気軽に様々なスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援

(6月26日 緑スポーツセンター 参加者449人)



みどりスポーツフェスティバル

(3) みどりスポーツ振興事業

ア 緑区ランニングフェスタの開催(12月24日)

イ プロスポーツチーム等連携事業

- ・緑区出身初の幕内力士 荒篤山関応援事業として、区内園児との交流・動画配信や写真展開催(4~5月)

- ・プロスポーツチームとの連携事業(冬季)

ウ スポーツ体験会や講演会等(冬季)

32 広報・広聴事業

2,643千円

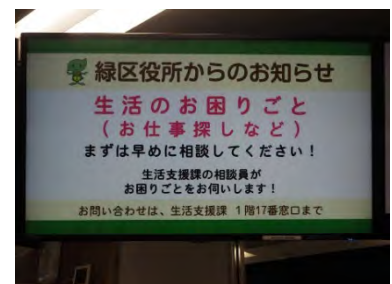
(1) みどり区区民生活・防災マップ事業

区内の公共施設や医療機関、防災拠点、地震・風水害情報等を掲載したマップを転入者等に配布します。

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供できるウェブサイトの長所を活かし、緑区ウェブサイト・緑区ツイッター・LINE・民間広報媒体と協力した情報発信を行います。併せて区庁舎2階の情報モニターを活用し、来庁者への広報も充実させます。

また、区内4駅6か所のPRボックスに、広報よこはま区版の特集ページの掲出と追加補充、区の事業に関するチラシの配架を行います。(毎月1日・10日)



情報モニター

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 緑区「ふれ愛トーク」の開催

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換します。実施したふれ愛トークは、その概要を広報よこはま緑区版やウェブサイト等で紹介していきます。

33 区民から親しまれる区役所づくり事業【拡充】

5,640千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図ります。(8月)

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。(12月)

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を行います。

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化を進めます。

(5) 緑区データ集作成事業【新規】

令和4年度は新たに予算を計上し、人口増減や年齢別人口など、区の統計データをまとめたデータ集「教えてみどり」を作成し、データをホームページで公開します。

令和 5 年度 緑区予算編成の考え方

緑区は豊かな自然の中で、地域の皆さまの温かい「つながり」が息づく、みんなにやさしい魅力あふれるまちです。これは、区民の皆さまの継続した活動により大切に育まれてきたものです。

この魅力あふれるまちを次世代に引き継いでいくために、自治会や関係団体、企業、大学等、地域の皆さまと連携しながら、**新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済・地域活動の回復**を図ってまいります。また、**子育て支援やDX**（デジタル技術を活用した変革）、**脱炭素化などの取組**を推進し、区民の皆さまに一層信頼される区政運営を実現していきます。

令和 5 年度の緑区予算編成では、次の 3 つの柱に沿って、区民の皆さまの声に寄り添いながら、地域の課題解決に向けた事業・取組を着実に進めていきます。

- 1 安全・安心なまち
- 2 いきいき暮らせるまち
- 3 みどりの魅力あふれるまち